

第4期

# 三豊市 生涯学習推進計画

概要版



令和8年3月  
三豊市教育委員会

## I 計画策定の趣旨と背景

人口減少や高齢化が進む中、市民の「Only One」の自己実現に向けた「生涯にわたる学び」の重要性が一層高まっています。本計画は、施設の老朽化や「学びを地域に生かす機会の不足」といった課題を解決するため、以下の特徴を持つ総合的な指針として策定されました。

### 4計画の統合

「三豊市公民館基本計画」「三豊市図書館基本計画」「第4次三豊市子ども読書活動推進計画」「三豊市文化芸術振興計画」の4計画を統合し、一貫性のある施策を推進します。

### 学びの地域還元(協働・共助)

個人の学びにとどめず、得られた知識や経験を地域課題の解決に生かす仕組みをつくります。

### 「縮充(しゅくじゅう)」の推進

施設の単なる削減ではなく、「縮小・統合を前提としつつ機能を充実させる」前向きな環境整備を行います。

本計画は、市民と行政が一体となり「One MITOYO」の未来を築く「市民力」を育むための力強い羅針盤となることを目指します。

**計画の期間** 令和8(2026)年度～令和12(2030)年度までの5年間。

令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
三豊市第2次総合計画(10年間)										第3次	
第2期			第3期				第4期三豊市生涯学習推進計画				

## I 市民アンケート調査結果から見える主な課題

**生涯学習環境** …… 誰もが利用しやすい施設への改善と、確実な情報発信。

**家庭教育力** …… 子育て不安を和らげる情報の充実と、親子向けプログラムの提供。

**文化・芸術** …… 若い世代の参加促進と、次世代への魅力発信・体験充実。

**文化財** …… 親しむ機会の充実と、地域の宝としての価値を伝える活動。

**学習成果** …… 学びを生かす活動の場の拡大と、地域へ還元する仕組みづくり。

**スポーツ・レクリエーション** …… 誰もが親しめる環境づくりと多世代交流機能の強化

基本理念

「生涯にわたって学び、学習成果を地域に生かせる持続可能な環境づくり」

基本目標

【目標1】

生涯にわたる学びによる  
「Only One」の自己実現

【目標2】

学びの成果を  
地域社会へ還元する  
「協働・共助」の文化の醸成

【目標3】

学習拠点の最適化の推進と  
機能の充実(縮充)

6つの施策

施策1

生涯学習推進の  
環境づくり

施策2

家庭教育力の向上

施策3

文化・芸術活動の推進

施策4

文化財の保護・継承

施策5

学習成果の地域社会への  
還元と推進体制の強化

施策6

市民スポーツ・レクリエーション  
活動の充実

## 施策1：生涯学習推進の環境づくり

### 1.現状と課題

講座参加者の固定化や、情報発信がターゲット層へ十分に届いていない現状があります。また、公民館等を「身近ではない」と感じる市民が約4割に達しているほか、図書館利用者数が減少傾向にある中、現在の7館体制を維持することは困難となっています。

### 2.施策・事業

本施策は、公民館・図書館など学習拠点の再編と利用促進に向けたサービス向上を推進します。公民館では、高齢者だけでなく親子や若い世代も参加しやすいよう休日に講座を開催し、全ての人を尊重する人権教育を進めます。

図書館では、未就学児向けの絵本パック拡充や学習・キッズスペースの設置により、こどもの読書活動推進と居心地の良い環境づくりを行います。

さらに、老朽化施設の統合・集約化を前提とした「縮充」を進め、独自の活動を残しつつ機能の充実と効率化を図り、再編時は移動困難な方へのサービス提供も検討します。

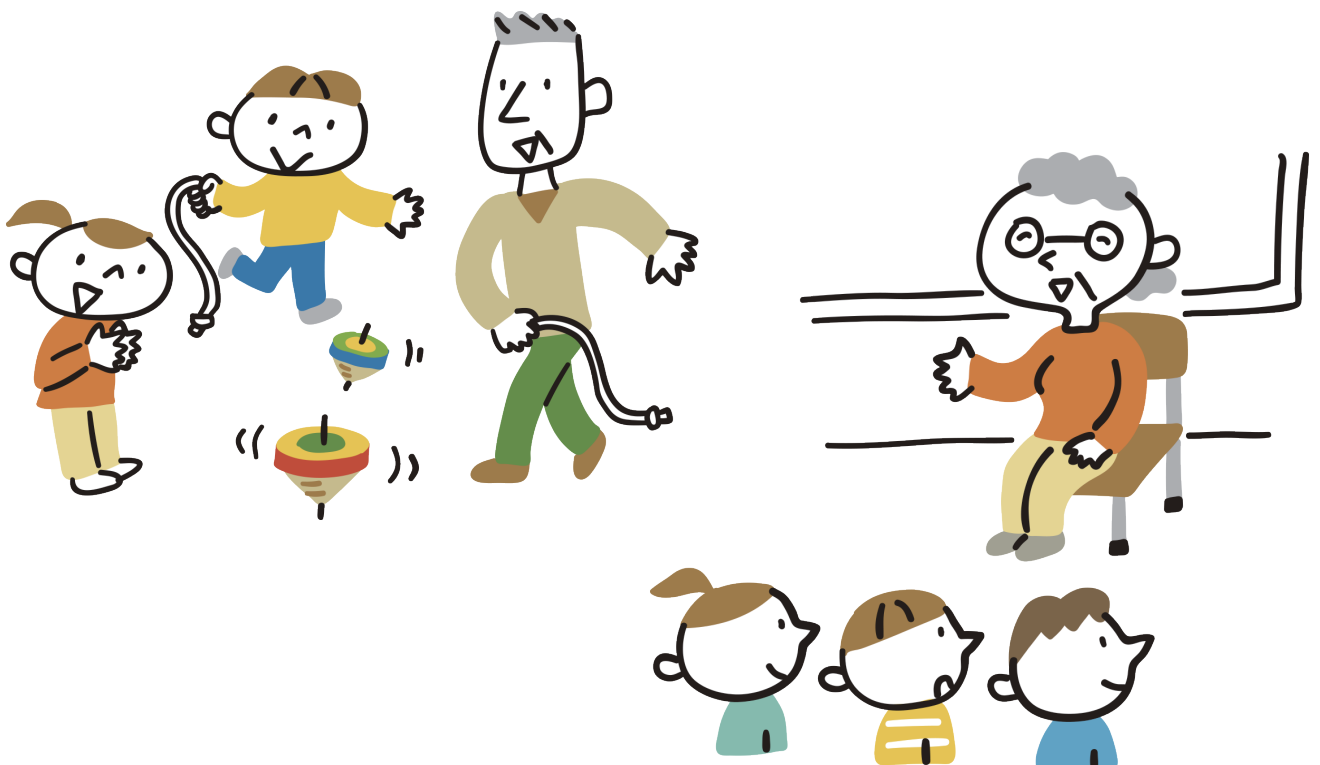
1-1：[公民館]年齢や性別を問わず、市民ニーズに応える生涯学習活動の推進

1-2：[公民館]市民への人権教育の推進

1-3：[図書館]こどもの読書活動推進と環境整備

1-4：[図書館]学校外での居場所の確保・居心地の良い図書館づくり

1-5：施設の「縮充」の実施による効率化と機能充実の推進



## 施策2: 家庭教育力の向上

### 1. 現状と課題

家庭教育学級は幼稚園で全園実施されていますが、小・中学校では開催状況に偏りがあります。また、行政の支援サービス情報が必要な層に届いておらず、親子参加型イベントの参加率低迷が課題です。

### 2. 施策・事業

本施策は家庭教育の充実と地域連携による青少年の健全育成を一体的に推進します。

家庭教育学級では学校の負担を軽減できる運営モデルを提示し、親子体験活動を積極的に導入します。

PTA等の研修を通じた家庭・学校・地域の連携強化や、スマホ・SNS等と正しく向き合うための啓発活動を充実させます。

さらに、「子ども広場」等を通じた高学年リーダー育成や単位子ども会の活動の活性化を促し、地域連携による安全体制の再構築により青少年の健全育成を図ります。

#### 2-1: 家庭教育学級の拡充と活動内容の充実

#### 2-1: PTAの役割と連携強化

#### 2-3: 保護者の子育て意識の啓発

#### 2-4: 子ども会活動の

#### 2-5: 青少年健全育成の推進

## 施策3: 文化・芸術活動の促進

### 1. 現状と課題

文化協会会員の高齢化・減少が続いており、特に若年層の文化・芸術イベントへの関心の低さが課題となっています。

### 2. 施策・事業

施策は多世代間の市民交流を促し、市民が参加できる文化・芸術事業を推進します。

活動団体と連携して児童生徒の放課後活動の選択肢を充実させ、SNSやデジタル媒体を駆使して文化活動の魅力若者目線で発信し、活動の裾野を広げます。

さらに、マリンウェーブや公民館等を活用した文化講座の開催や、旧町や世代の垣根を超えた市民交流を推進し、文化・芸術を通じた地域活性化と「協働・共助」の促進を図ります。

#### 3-1: 放課後活動の選択肢の充実と魅力発信

#### 3-2: 多分野連携による市民交流の拡大

## Ⅰ 施策4:文化財の保護・継承

---

### 1.現状と課題

未整理・未調査状態の文化財が多数存在し、適切に保存・活用していくための整理が必要です。また、文化財保護への関心が全体的に薄く、多世代に対して価値を伝える対策が求められています。

### 2.施策・事業

本施策は市民協働により文化財の整理・活用を進め、次世代への確実な継承を図ります。

未整理・未調査状態の膨大な文化財について整理・調査を行い、適切に保存しつつ市民目線を取り入れた活用方法を検討します。

地域と連携したボランティア活動を推進し、文化財の価値を共有して保護意識の向上につなげます。

また、学校等と連携した体験学習で地域への愛着を高めるとともに、魅力的な広報を強化し、市民全体の文化財に対する関心度を向上させます。

4-1:市民協働による文化財の整理・活用

4-2:学校教育での文化財の活用と啓発強化

## Ⅰ 施策5:学習成果の地域社会への還元と推進体制の強化

---

### 1.現状と課題

学習で得た知識を地域のために生かしたい意欲はあるものの「生かす機会がない」という構造的課題があります。活動が「自分たちの楽しみ」で自己完結し、地域貢献へ発展しにくい状況です。

### 2.施策・事業

本施策は市民の学習成果が地域課題の解決に結びつくよう、「市民力・経験を地域に生かす仕組み」の構築を推進します。

各種講座等の参加者に対し、地域活動やボランティア活動への参加を促す具体的な情報提供やマッチングを行い、学習意欲と活動機会のギャップを解消します。

また、行政・市民・学校等をつなぐ要となる人材の発掘・育成・配置など「協働・共助」の基盤整備や、市民活動への参画を促す広報活動を積極的に展開します。

5-1:市民力・経験を地域に生かす仕組みの構築

5-2:推進体制の強化と「協働・共助」の基盤整備

# 施策6：市民スポーツ・レクリエーション活動の充実

## 1.現状と課題

子どもの運動頻度やスポーツイベント参加者が減少しています。単なる運動の場を超え、「多世代交流の場や地域の賑わいづくり」となる機会提供や、老朽化した社会体育施設の安全確保・計画的な改修が課題です。

## 2.施策・事業

本施策は「第2期三豊市スポーツ推進計画」に準じ、施設の効率的な維持管理と、市民の多様なニーズに応じたスポーツ機会の創出を図ります。

各世代でのスポーツ実施率が向上する機会を創出し、子どもたちが心身共に健康な生活を営む資質や能力を育成します。

地域密着型トップスポーツチーム等との連携や大会誘致により地域の賑わいづくりや交流を深めるとともに、指導者の育成や、老朽化した社会体育施設の計画的な改修・維持管理を推進します。

6-1：各世代でのスポーツ・レクリエーションの推進

6-2：スポーツを通じた交流の促進と地域活性化

6-3：スポーツ推進体制の充実と効率的な施設の維持管理

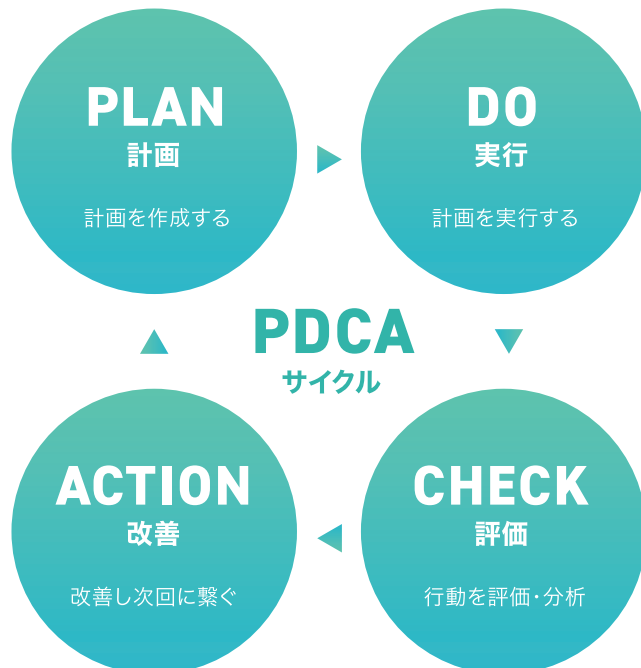
## 計画の推進体制と進行管理

### 多様な主体との「協働」推進

庁内関係部署間の連携に加え、行政、市民、学校、NPO法人、企業等の多様な主体との連携を基盤とします。

### 「質的な成果」を重視した評価とフィードバック(PDCA)

毎年度、活動量(アウトプット)を中心に進捗を確認します。さらに計画最終年度(令和12年度)には市民アンケート等を実施し、市民の意識や行動、地域社会に起こった変革(アウトカム・インパクト)を総合的に評価し、次期計画への基礎資料とします。



#### 【計画策定の経緯と体制】

三豊市生涯学習推進計画策定委員会 …… 学識経験者、小中学校代表、社会教育関係団体代表、公民館利用者代表など多様な委員で構成し、多角的な視点から検討を行いました。

市民参加のプロセス …… 市民アンケート(対象1,500人、有効回収率46.0%)の実施や、パブリックコメントを経て、市民の声を広く反映して策定されました。



三豊市教育委員会

### 発行情報

発行: 令和8年3月

編集・発行者: 三豊市教育委員会

住所: 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373-1

TEL: 0875-73-3135 FAX: 0875-73-3140

HP: <https://www.city.mitoyo.lg.jp/>